

文京のがくどうほいく



第41回区連協運動会を5月6日(日)に開催します!



5月6日(日)に文京区学童保育連絡協議会主催の運動会を開催します。今年も小石川運動場が会場になります。ゴールデンウィーク最終日!多くの方のご参加をお待ちしています。



昨年の運動会の様子

玉入れ(左)

大玉送り(中)

タイフーンレース(右)



★第1回実行委員会★

2月2日に、運動会に向けて第1回実行委員会がスタートしました。今年は14の育成室が参加予定になっています。運動会当日は、様々な面で父母が力を寄せ合い、運営をしています。今年も、ご協力よろしくお願いします。

実行委員会では、越野会長より「区連協に加盟していない育成室にも運動会の声をかけてもいいですか?」との相談がありました。それぞれ育成室の事情もあるため、今回は文京区全育成室に「運動会開催のお知らせ」を配布することの承認をいただきました。新設で子どもの人数が足りない育成室は、近隣の父母会が声をかけて一緒に参加するなどの形で取り組んでいただくと助かります。多くの父母同士、また父母会同士の交流が、運動会の目的でもあります。学童保育のつながりを広げる働きかけにご理解をお願いします。

その他には、保険について確認がありました。参加費(1世帯)600円に保険料が含まれるため、参加者の区連協加盟に関係なくケガなどの補償はされます。

お問い合わせは、役員会連絡先 bunkyo.renkyo@gmail.com をお願いします。

運動会・運営委員会(裏面)の情報は、区連協HPに随時掲載していきます。

文京区連協HPのQRコード



★運動会プログラム(予定)★

プログラムが直前配布のため、参考にご覧ください。

9:30 開会式

9:50 大玉送り(全員)

10:05 玉入れ(各学年&OB)

10:35 ちびっこ競技(幼児)

10:50 育成室対抗タイフーンレース

11:20 昼休み

12:20 育成室対抗リレー

13:20 綱引き(女子・男子・お母さん・お父さん)

13:55 閉会式



ボランティア募集

今年は、朝の会場設営や警備の人が不足しています。わが子がOBで運動会に参加ご予約の方!ご都合がよければ運営にご協力をお願いします。

※参加申込書に、お手伝いの内容を記載します。
お手伝いが可能な項目にチェックをお願いします。

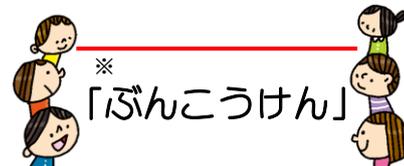
★第2回 運営委員会報告★

10月22日（日）10時よりシビックセンターで第2回運営委員会が開かれました。はじめに、本郷第二育成室の早乙女先生が役員を引き受けてくださり、役員追加が承認されました。重要な議事では、「陳情書・要望書の回答」を課長から説明していただく予定でしたが、当日は国政選挙と重なり課長欠席となったため、役員側で説明を行いました。

前回から継続議事では、新規加盟・復帰加盟に向けての取り組み状況を報告しています。

また、「ぶんこうけん」※へのアンケート結果については、賛成数が反対数を上回りましたが、未回答団体もある中、役員会として主催は見送りたい考えであることを説明しました。賛成いただいた方には申し訳ないですが、ご理解いただければと思います。

第1回、第2回子ども子育て会議について、団体推薦委員の三井さんから報告が行われました。作成していただいた報告資料がありますので、会員の皆さんにご覧いただけるよう文京区連協 HP に掲載しています。平成29年度の育成室ニーズ率（育成室ニーズ量 / 小学校低学年人口）が30.8パーセント（0.6ポイント↑）という報告や、育成室の増室計画（8から10への2室増）では、「何もせず増室されているわけではなく、働きかけによるもので、これを継続することが必要」という育成室の現状を理解いただきやすい資料です。



文京区の育成室の保護者と指導員が中心となって、育成室の生活やこどもに関わるテーマについて話し合い交流する集いです。今年のテーマは「今日の「出会い」を明日の子育てへ」です。皆さまのご参加お待ちしております。

☆開催日時：2月25日（日）10時～16時半
☆場所：第三中学校
午前：基調講演 下浦忠治先生
「子どものよりよい居場所のために」
午後：分科会
参加費：700円

放課後全児童向け事業について

育成室と全児童向け事業（文京区ではアクティ）との関係は、気になるけれど、よくわからない？ そこで、運営委員会に指導員さんをお呼びし、アクティの様子をお話しいただこうとお願いをしました。あいにく時間が足りず、駆け足でお話しいただくこととなってしまいました。今回「陳情書」内に、「放課後全児童向け事業について」の質問をしていますので、回答と合わせてご覧ください。

質問事項 平成31年度の全小学校全日実施を目指していると聞いております。この事業が今後の育成室の増室等にも影響があるのではないかと危惧している父母も多いと思われるので今一度、ご説明をお願いいたします。また、現状で実施している小学校における放課後全児童向け事業の利用率・利用状況についてもお示し下さい。

回答 文京区放課後全児童向け事業は、小学校就学後に、全ての児童が安全・安心に過ごすことができる居場所を確保することを目的として、国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施をしております。したがって、保護者の就労等が申請の要件となっている育成室とは、目的を異にしているため、本事業が今後の育成室の増設に直接影響を及ぼすことはありません。なお、本事業は、平成31年度までに、文京区子ども子育て支援事業計画に基づき、全ての文京区立小学校において実施することを予定しており、学校運営に支障のない範囲内で、平日の放課後及び長期休業期間中の平日に事業を実施いたします。また、利用状況は、全体として実施校児童の約7割の児童が登録を行い、一日あたりの平均利用児童数は約45人となっております。

〔役員からの説明〕この件に関しては区長面会でも話ができている。放課後全児童向け事業と育成室事業が分かれて計画されているということは、とても画期的なことで、東京都内唯一といっても過言ではないものです。これまで私たち区連協として先輩方から綿々と伝え続けてきたことで、区行政の方々もそれに共感し、大事にしていこうとしている関係性があるのが今の文京区の状況だということを知っていただきたいです。

指導員さんからのお話の一部を紹介します。「子どもたちの姿について。下校時刻がどんどん遅くなっていて、1年生も5時間授業が当たり前。育成室が終わる時間が6時半に伸びているとはいえ、のんびり自主的に過ごせるステキな時間は短くなっています。保護者としては移動しないで学校の中で自由に遊んでくれれば安全で安心ということで始まった事業だと思えますが、全児童の場合、学校が終わったらそのまま同じ場所（学校）ですので、学校での子どもの関係を引きずっているところがあるのではないかと思います。」「文京区は学童保育の対象が3年生までとなっていますが、国は6年生まで対象になっているので、その受け皿としての意味あいも全児童にはあると思います。しかし、高学年の利用が伸びていないということは、実際にフォローできていない点として課題と感じられます。」 実際の話では、子どもの時間のありようがうかがえ、問題点に気づかされました。このような対話の機会が増えるよう、運営委員会でも工夫をしていきたいと思えます